

SOCIETY 社会

》お客様とともに

○ ご満足いただける製品品質とサービスの提供

当社は経営五ヵ年計画「EIDAI Advance Plan 2023」の中の6つの基本方針で、「お取引先様及びエンドユーザー様にご満足いただける製品品質とサービスの提供」を第一に掲げました。設計、製造から販売に至るまで、CS(顧客満足)を最優先とし、お客様の声に耳を傾けながら、製品品質とサービス、そして信頼を提供してまいります。

○ 具体的な施策

- ①設計・製造の各プロセスにおいては、設計段階でのレビューの充実、設備の改善、更新をはじめ、ISO9001(QMS)に基づいた品質管理体制を徹底強化してまいります。
- ②販売においては、市場ニーズを把握し、販売政策へと展開することにより、質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

○ 品質方針で4つの施策を明示

当社の各生産拠点では、ISO9001に準拠した品質マネジメントシステムを導入するとともに、品質方針を制定しています。この品質方針では目標達成に向けた4つの具体的な施策を明示しています。

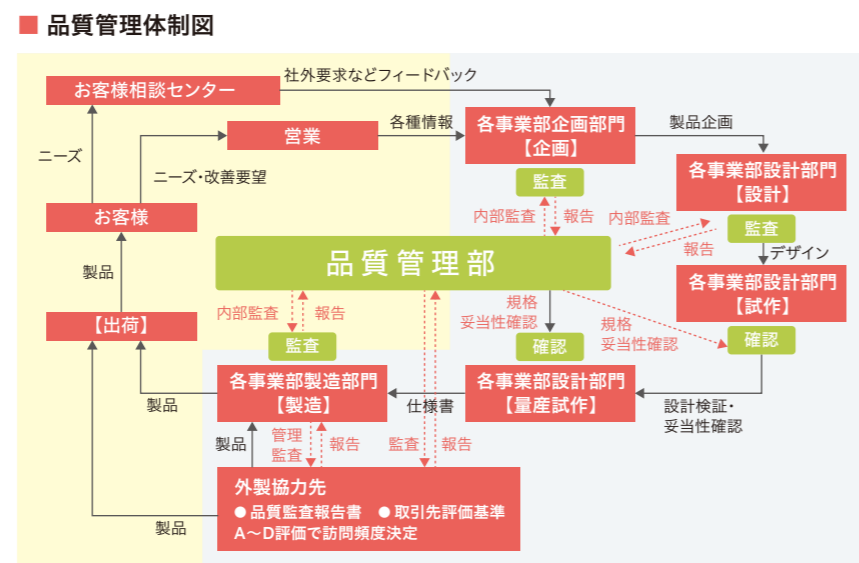
品質方針 ISO9001

永大産業株式会社の理念及び企業戦略を踏まえて、当事業本部はお客様の期待やニーズなど関心事を捉え、製品化を行い、お客様がご使用になって満足する製品を継続的に提供することを目指し、以下のような方針・目標を設定します。
上記、方針を達成するために、当組織は次のことを実施してまいります。

- 1 ISO9001の規格要求事項を満足するように品質マネジメントシステムを確立、実施、維持します。
- 2 顧客と交わした契約ならびに法規制を遵守して、顧客からの信頼により高度に応えられるように経営資源を確保するとともに、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
- 3 品質方針を全従業員に周知させて、全従業員が品質方針の達成に向けて行動できるようにします。
- 4 品質方針を踏まえて品質目標を設定し、年1回及び必要に応じて見直しを実施します。

○ 品質管理体制の強化

当社は、お客様に確かな品質の製品をお届けするため、品質管理の徹底を図っています。中心となる品質管理部は、社長直轄で独立性の高い部門であり、製品の企画段階、設計段階で誤りが生じていないかを監査するとともに、協力会社でも品質の維持に努めています。さらにお客様からのニーズやご要望、営業からもたらされる各種情報を、当社のものづくりに反映させています。



》従業員とともに

○ より安全な職場づくりに向けて

当社では、より安全な職場づくりを目指して、最高安全衛生委員会を組織しています。委員会では定期的に会合を開き、生産現場における安全対策を協議し、効果的な対策については情報を共有して再発の防止に努めています。事業所には生産現場で事故やけがにつながる危険な動作を、事前に学習できる「安全体感道場」を設けており、災害の予防に力を入れています。



○ 人材育成の取り組み

当社では社員の資質向上を図るため、新入社員のフォローアップ研修を始め、入社3~6年目の新卒採用者やキャリア採用の技術職・スタッフを対象とした研修を実施しています。さらに業務をこなせる9~13年目の中間営業職に対しても、さらなるスキルアップのため研修を行うなど、絶えず人材の育成に取り組んでいます。



○ マイスター制度で優れた技能者を認定

当社では、ものづくりに欠かせない生産技術、開発技術に長けた技能者を有する社員を認定する「マイスター制度」を設けています。マイスター制度のレベルは上位からM-1~M-3まで3段階あり、毎年春に開催する「マイスター審議会」で、マイスターの更新、新規認定を行います。2019年度は新たに5名が加わり、総勢22名が認定されました。

2018年度の取り組み

食堂をリノベーションし、モチベーションをアップ

当社では2018年5月に「大阪事業所」の食堂をリノベーションし、お客様との商談などにも活用できる空間へと用途を拡大させました。多くの社員が集う食堂を心地よい空間に変えることで、社員のモチベーションを高め、職場の活性化を図りました。



》地域社会とともに(社会貢献活動)

○ 「車いすフットボール」を継続的に支援

当社は、誰もが安全に使用できる内装製品「セーフケアプラス」製品群の開発、販売を行っておりますが、その「セーフケアプラス」の考え方の延長線上にあった、「誰もが参加でき、競技者全員が大切である」という日本車いすアメリカンフットボール協会の思想に賛同し、2018年から同協会の活動を支援しています。2018年度は当社が冠スポンサーとなった「永大カップ」を2度、開催いたしました。



○ ソーラーランタン普及事業に協賛

タイ、ミャンマーの山岳地帯や難民キャンプは電気のない無電化地域であり、そうした場所で生きていかなるを得ない子どもたちは、夜しか学べる時間がありません。当社は、そうした無電化地域に太陽電池で発光する「ソーラーランタン」を届ける活動を行うNPO法人FAIR ROADに協賛し、2018年から支援を始めました。

